

5月30日(火)
福岡県福津市
議会だよりの編集方法
及び発行状況について

福津市は、福岡市・北九州市二つの政令指定都市のほぼ中間に位置し、ベッドタウンとして発展しており、人口が増加している地域である。

議会だよりは、議会閉会の翌々の1日に28,700部を年間4回発行発行までに編集会議を5回開催している。

市民の皆様は手に取ってもらえること、議会の内容をわかりやすく伝えること、中学生にも読んでもらえることに特に留意し、内容・文書の編集を行っている。

令和2年2月発行の第60号で表紙絵の公募を行い、テーマに沿った表紙を複数点依頼した。その後、令和3年、令和4年



福津市の研修

にも公募を実施。公募により、市民の作品の紹介の場となり、また市民への周知につながり、議会だよりが手に取りやすくなったとの声が聞かれた。

議会の役割や取り組みを紹介する特集ページについては、イラスト・写真を活用し、わかりやすい紙面づくりに取り組んでいる。編集については、プロジェクター、タブレット、ホワイトボードなどを活

全国市議会議長会表彰

6月14日に開催された、第99回 全国市議会議長会定期総会において、井上末喜議員、高木和恵議員が、議員として20年以上務められたことにより、特別表彰を受賞されました（在職年数につきましては、町議会議員の在職年数の2分の1が通算されています）。

また、林田久富議員、吉田幸一郎議長へは、産業経済委員会委員としての功績に対し、感謝状が贈られました。



(左から)林田久富議員、高木和恵議員、井上末喜議員、吉田幸一郎議長

用し、編集情報を共有・可視化することで、効率的に作業を行っている。編集委員会は新人中心の構成となっている。

【委員長所感】
市民の皆様は手に取ってもらえる議会だよりを発行することは、共通の目標であり、参考とさせていただきます。多くの有意義な研修となった。



5月31日(水)
ほとめきの里道の
駅ぐるめ
三池炭鉱 万田坑

南島原市議会 Q & A

Question 1 ?
議会はいつ開かれるのか？

Answer! 議会は、市長の招集により開かれます。定例会と臨時会があり、定例会は年に4回（おおむね3月、6月、9月、12月）、約1ヶ月の会期で開かれます。南島原市議会において臨時会は、2022年(令和4年)では、3回開催され、いずれも1日の会期でした。
※参考：<https://www.city.minamishimabara.lg.jp/gikai/list00502.html>

QRコード(南島原市議会の日程・結果)



Question 2 ?
市民として、市政に対して意見や要望がある場合は、どうすればよいのか？

Answer! 請願(書)や陳情(書)を通じて市政に対して意見や要望を伝えることができます。請願は、1名以上の市議会議員の紹介が必要になります。一方陳情は、議員の紹介を必要としません。詳しい内容は、下記URLまたは、議会事務局にお問い合わせ下さい。
※参考：<https://www.city.minamishimabara.lg.jp/gikai/list00508.html>

QRコード(請願・陳情の御案内)



南島原市を視察されました

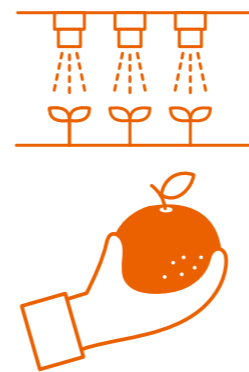
天理市議会議員の皆様

令和5年7月12日、奈良県天理市議会経済産業委員会が、「果樹産地プロデュース・ブランド化事業」について、行政視察に訪れました。

冒頭、榎堀秀樹委員長から、「数年前に農産物や物品等の天理市ブランド化事業というものを立ち上げた。僅かな予算ながら、毎年少しずつ進めているが、なかなかこれだという方向性が見えてこない。ぜひとも本日は学ばせていただきたい。」と挨拶されました。

研修では、農林課職員より、みかん栽培の課題や、それに向けた取組、トレーニングファーム(農業研修)の内容などについて説明がありました。

その後質疑応答があり、有意義な意見交換となりました。



果樹産地プロデュース・ブランド化事業とは

みかん生産者の育成のための農業研修(トレーニングファーム)や、樹園地の事業承継に向けた仕組みづくり、そして果樹産地としてのブランド力向上のためのPR活動を行い、持続的な果樹産地を目指すもの。



果樹産地プロデュース・ブランド化事業についての説明